

対応状況報告書（2025.10末現在）

No	部署	質問	対応状況
1	教育部学校教育課	女子トイレにサニタリー用品を	【学校教育課】 生理用品の取扱いについて女子生徒の思いや願いを聞くために、市内全中学校の女子生徒にアンケート調査を行っている。 実態を把握した上で、学校トイレに生理用品を設置するか検討する。
2	地域振興部中山間地域振興室 経営企画部プロモーション戦略課	中山間地域の人口減少を食い止める	【子ども議会答弁のとおり：中山間地域振興室、プロモーション戦略課】 中山間地域における取組としては、佐伯・吉和地域の魅力ある観光施設などに沿岸部を中心とした来訪者を増やす回遊促進事業や地域内にある空き家の活用と移住者の増加を図るための空き家バンク事業では、中山間地域において、５年間の成約数が　８５件（吉和地域２８件）となっており、吉和地域では成約数が年々増加している。 また、子育て世代を中心とした移住者の取組では、住宅購入費の一部を支援する定住促進補助金を令和元年度に創設し、これまで２０世帯（吉和地域１世帯）、６６人（吉和地域３人）、そのうち子ども２９人（吉和地域１人）が移住した。 こうした取組を通して、吉和地域などの中山間地域の良さ、魅力を広めて、好きになってもらい、遊びに来てもらえる交流人口・関係人口を増やし、将来的には住んでみたいと思ってもらえるよう働きかけを続けていく。 【プロモーション戦略課】 市公式Instagramで中山間地域の魅力を市内外に伝えるため「やまびこ太鼓」にスポットをあてた投稿を１１月下旬に予定している。
3	建設部都市計画課 生活環境部ゼロカーボン推進課	廿日市市の緑化活動について	【子ども議会答弁のとおり：都市計画課、ゼロカーボン推進課】 本市における緑化の取組状況についてであるが、緑豊かで快適な都市づくりを進めるため、「緑の基本計画」を策定し、緑地の保全、公園の整備、地域住民との協働による緑化活動など、緑に関わる諸施策を総合的に推進しているところであり、身近な緑化活動の取組としては、地域住民との協働による、森林づくりのための植林や、まちなかへの花の植え付けなどが挙げられる。 今後も、地域住民や学校、ボランティア団体との連携による環境教育や緑化活動を通じて、緑地の保全及び緑化の推進を図ることで、「緑のまち」としてさらなる魅力を感じていただくとともに、本市の持つ様々な資源や魅力を活かし経済発展できる、バランスの取れたまちでありたいと考えている。
4	生活環境部循環型社会推進課	カラス？かかってこい	【循環型社会推進課】 ダスターステーションのごみ散乱防止対策として、現状の補助制度に加え、令和8年度からは、目が細かくおもり付きネットの現物支給を行う方向で調整中。
5	教育部学校教育課	中学校の制服や体操服をもっと手軽に	【学校教育課】 廿日市市PTA連合会と質問の意図等について共有するとともに、学校単位での制服のバザー開催等について協力を依頼した。
6	経営企画部経営政策課 地域振興部中山間地域振興室	県内外高校の共同寮の設置について	【子ども議会答弁のとおり：経営政策課、中山間地域振興室】 共同寮の設置に関しては、通学環境の改善や進学先の選択肢の確保などの観点から、その趣旨は理解できるが、そもそも、高校の寮は、生徒が安心して生活し、勉強や部活動にしっかり取り組めるよう、学校の教育方針や学習環境に合わせて、適切な生活のサポートを行うことが必要である。 そのため、寮は、学習や生活のサポートを一体的に行えるよう、各学校が自らの教育方針や学習環境に合わせて設置・運営することが望ましいと考えている。 また、市が共同寮を設置しようとした場合には、将来にわたって持続的に維持・運営していくための利用が見通せないことや、財政的な負担が伴うなどの課題もある。 以上のことから、現時点において共同寮の設置は難しいと考えている。
7	産業部産業振興課 産業部観光課	廿日市市の都市開発について	【産業振興課、観光課】 令和７年１０月２０日、廿日市市議員全員協議会において、これまで市民や議員の皆さんからいただいた意見や要望等の実現を図るため、観光交流エリアにおいて公共施設等の整備を検討していることを説明した。 引き続き、観光交流エリアにおける市民利用の促進や市の課題解決を図るための方策や手法等について、具体的な検討を進めていく。
8	地域振興部スポーツ推進課	公共施設のバリアフリーについて	【スポーツ推進課】 令和８年度の廿日市市スポーツセンター屋根付き車椅子使用者専用駐車場等整備工事実施に向け、予算要求事務を進めるとともに、令和７年度の現計予算にて施設設計業務を実施している。
9	地域振興部国際交流・多文化共生室 教育部学校教育課	学生の英語力向上のために	【子ども議会答弁のとおり：国際交流・多文化共生室、学校教育課】 海外との交流は、英語力の向上につながるとともに、海外の文化に興味を持ち学習意欲を高めるきっかけとなると考えている。 今後、国際交流事業の企画に、マスタートンに派遣した中高生にも参加してもらうこととしている。国際交流に関心を持つ青少年の皆さんには、こうした取組へ積極的に参加していただきたい。 そして、海外の様々な人と交流し、英語力の向上につなげていただくとともに、国際的な視野を広げられるよう、市としても、青少年の皆さんの活動を応援していきたい。 （実施の一例としては以下のとおり） ・令和７年度姉妹都市マスタートン青少年派遣事業の派遣者５名が、派遣の様子やマスタートンについての展示パネルを作成し、１０月５日に市民活動センターで、開催された「AKIフェス（廿日市市国際交流協会主催）」で、展示を行った。 ・１１月には令和７年度姉妹都市マスタートン青少年派遣事業の報告会を実施する予定であり、報告会に向けての準備を行っている。
10	建設部交通政策課	廿日市市の新たな公共交通機関について	【子ども議会答弁のとおり：交通政策課】 ＡＩデマンド交通など新たな運行システムの導入は、利便性の向上が図られる一方で、システム導入に係る費用や効果、現在運行しているバス・タクシーへの影響を考慮すると、現時点での導入は難しいものと考えているが、誰もが利用しやすい移動手段の手法の一つとして、研究を進めていく。
11	建設部維持管理課 建設部施設整備課 生活環境部人権・市民生活課	安心して歩ける道を目指して	【子ども議会答弁のとおり：維持管理課、施設整備課、人権・市民生活課】 歩道の拡張については、新たな歩道の設置や今ある歩道の拡幅を行い、車両と歩行者が分離されることが最も有効な対策ではあるが、道路沿いには住宅や店舗など、多くの建物が配置され、建物などの移転や用地買収の協力が得られないと対策が進まないこと、費用と時間を要することが課題となる。 道路の端の転落防止柵は、基本、民地との高低差が１．５メートルを超えている場所は設置することとしているが、その他通学路などで危険な場所は、１．５メートル未満の場所についても、設置している。 防犯灯についても、通学路において下校時等に暗く通行に不安な具体的な箇所がある場合、町内会等と調整していきたい。 今後、アンケートの具体的な意見のあった場所についても、毎年実施している通学路安全推進会議へ要望してもらうなど、些細なことでも積極的に声をあげていただきたい。